

【川崎市市制 100 周年記念事業】

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」 ことラー募集及びフォーラム開催のお知らせ

2024 年、川崎市は市制 100 周年。川崎市では、誰もが身近に文化芸術に触れ、参加できる環境「アート・フォー・オール」の実現に向けた取組を進めています。この「アート・フォー・オール」の取組の一環として、川崎市と東京藝術大学とが連携し、川崎のまちをフィールドとして文化芸術を介して、そこに生まれる“こと”と“こと”をつなぎ、人と人や人と場所がつながりあえる「アートコミュニティ」を育むプロジェクト「こと！こと？かわさき」※を今年度から本格的にスタートしました。

このプロジェクトの主体となる、アート（文化芸術）を介して、対話をしながら人・モノ・こと・場所等をつないでいくアートコミュニケーター「ことラー」の 2025(令和 7)年度から活動する方々を募集します。また、この「ことラー」募集に際し、市制 100 周年記念「こと！こと？フォーラム」を開催いたします。

※アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」の活動内容については別紙参照。

1 アートコミュニケーター「ことラー」の募集

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」の主体となるアートコミュニケーター「ことラー」を募集いたします。

「ことラー」は、対話をしながら市内の文化資源をいかして、人・モノ・こと・場所等をつないでいく人々です。

【参加の条件】

- ・ 18 歳以上（2025(令和 7)年 4 月 1 日現在）
- ・ 「アート（文化芸術）」や「コミュニティ」に関心がある
- ・ 川崎市内で活動する意欲があり、積極的に学び、「こと！こと？かわさき」の趣旨に共感して活動できる人
- ・ 活動の拠点となる『新百合トウェンティワンホール研修室※』や市内の施設等での講座や活動に参加できること

※ 拠点は 2025(令和 7)年 7 月中旬以降に小田急線向ヶ丘遊園駅周辺に移転を予定しています。

「ことラー」の活動は最長 3 年間。登録期間は 1 年間で、次年度以降は本人とプロジェクトチーム双方の合意のうえ、登録更新し、最長 3 年間となります。

詳しい参加条件や応募要項等については、こと！こと？かわさき Web サイトで御確認ください。

⇒ こと！こと？かわさき Web サイト URL <https://kotokoto-kawasaki.com>

※ 応募受付期間：2024(令和 6)年 12 月 15 日（日）～2025(令和 7)年 2 月 4 日（火）（消印有効）



こと！こと？かわさき
Web サイト二次元バーコード

2 市制 100 周年記念「こと！こと？フォーラム」の開催

2024(令和 6)年 4 月からスタートした「こと！こと？かわさき」は、現在 40 名のアートコミュニケーター「ことラー」とともに、誰もが自分らしくいられ、誰かとゆるやかにつながりを持てる社会を目指して、川崎のまちのなかへ活動を広げています。

私たちが日々を過ごすなかで、特別な日の関わり合いもまちの中にある日常的で気軽に参加できる居場所も、どちらも大切なコミュニティのあり方です。本フォーラムでは、今年度から始まったことラーの取組の中から見えてきた、「ハレ（特別な）とケ（日常）」のコミュニティのとらえ方と可能性、多様な価値観を持つ人々がそれぞれの楽しさを共有できるまちのあり方について、福田市長と東京藝術大学日比野学長を迎えて考えを深めていきます。

《開催概要》

- ・開催日時：2025(令和 7)年 1 月 11 日(土) 13 時 30 分から 16 時まで(受付開始 13 時から)
- ・開催場所：川崎市役所本庁舎 2 階ホール(川崎市川崎区宮本町 1 番地)
- ・定員：160 名(応募多数の場合は抽選、参加無料)
- ・参加申込方法：こと！こと？かわさき Web サイト内、申込フォームからお申し込みください。

(申込期間：11 月 22 日(金)から 12 月 23 日(月) 18 時まで)

⇒ こと！こと？かわさき Web サイト内、申込フォームから

URL <https://kotokoto-kawasaki.com/2024-forum>

- ・内容：ハレのつながり、ケのつながり ～市民と川崎市と藝大でつくる文化的処方～

・第 1 期ことラーによるトーク、クロストーク ほか

- ・登壇者：東京芸術大学 学長・アーティスト 日比野 克彦

川崎市長 福田 紀彦

こと！こと？かわさき プロジェクトマネージャー 近藤 乃梨子

こと！こと？かわさき プロジェクトマネージャー 玉置 真

川崎市市民文化局市民文化振興室 担当課長 山本 陽子

こと！こと？かわさき 第 1 期ことラー 数名



こと！こと？かわさき Web サイト
申込フォーム二次元バーコード



2024 年、川崎市は市制 100 周年

次の 100 年に向けて「あたらしい川崎」を生み出していくためのスタートラインとして、
オール川崎市で、多彩な記念事業「Colors,Future! Actions」を展開しています。

▶川崎市市制 100 周年記念事業公式ウェブサイト <https://kawasakicity100.jp/>

「全国都市緑化かわさきフェア」

次の 100 年に向けて、みどりについて皆さんと一緒に考え行動することで、
誰もが暮らしやすく住み続けたいまちへとつなげていくため、開催します。

▶全国都市緑化かわさきフェア公式サイト <https://green-for-all-kawasaki2024.jp>

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Green For All
KAWASAKI
2024



問合せ先

川崎市市民文化局市民文化振興室 山本

電話 044-200-2122

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」とは？

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」は、川崎のまちをフィールドとして文化芸術を介して、そこに生まれる“こと”と“こと”をつなぎ、人と人や人と場所がつながりあえる「アートコミュニティ」を育むプロジェクトです。

様々な背景や興味関心を持つ人たちが集まり、講座やワークショップを経て、活動に必要な考え方を共有し、市内の文化芸術資源を用いて、気づき(！)や問い(?)を重ねて、新たなコミュニケーションを創出し、市内の文化資源をより身近に感じられる、多彩な活動につなげていきます。緩やかにつながりあう活動やネットワークが広がることにより、多様な市民と社会をつなぎ、文化施設のみならず、医療施設や福祉施設等とも連携し、「対話のある社会」、「多様性が尊重される社会」、「孤立しない社会」など心豊かなウェルビーイングなまちの実現を目指します。

※ 川崎市は「アート・フォー・オール」実現に向け東京藝術大学を中核とした「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」に参画・協働しています。



《プログラムの内容》

1 基礎講座（4月から6月隔週開催 全6回）

アートコミュニケーター「ことラー」として必要な、対話力やコミュニケーションの良い取り方などを、講座を通して学び、スタッフと共に基本的な考え方を共有していきます。

- ・オリエンテーション、鑑賞体験、「きく力」講座、グッドミーティング講座 ほか



基礎講座の様子

2 実践講座（7月以降、月2回程度開催、3つのコースから1コース以上受講、各コース6回程度）

作品鑑賞やフィールドワークを市内施設と協働して行い、伴走スタッフと共に実践的な活動を通して、対話や新たな価値を見出す力を養う活動を行います。

- ① まちと人実践講座：フィールドワークなどを通して、川崎市の「まち」と「人」について理解を深め、コミュニケーションの場を作る。
・2024年度内容：フィールドワーク、かわさき MY カード作成、市役所本庁舎ツアー など
- ② 鑑賞実践講座：対話型鑑賞の意義を理解して、川崎市内の文化資源をコミュニケーションの場づくりができるようになる。
・2024年度内容：対話型鑑賞ファシリテーション講義、パブリックアート鑑賞会、川崎市浮世絵ギャラリーこども鑑賞会 など
- ③ ケア実践講座：年齢や障害の有無にかかわらず、社会のあらゆる人が心地よく安心してコミュニケーションできる場作りを目指し、ケアの視点を深め考える力を身につける。
・2024年度内容：ユマニチュード、ミュージアム・アクセシビリティ講座及び実践 など



フィールドワークの様子



パブリックアート鑑賞会の様子



講座の様子

3 ことラー全員で取り組むプログラム（随時）

市内の文化施設や地域と連携した実践的なプログラムを行います。

《2024年度実践例》

- ・川崎市市民ミュージアム 写真ワークショップ「MUSEUM TRIP」
- ・川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキュー参加プログラム など



写真鑑賞ワークショップの様子

4 自主的なプロジェクトの企画・検討及び実践【ことラボ】(随時・1年目は7月以降)

自主的にアイデアを出し合い、「この指とまれ」・「そこにいる人が全て」方式で、そこに自分たちのリソースと市内の文化資源を掛け合わせて企画立案、検討を重ね、伴走スタッフと相談しながら、実際にプロジェクトを実行していきます。



ことラボ(ミーティング)の様子